

人間文化学研究科「研究指導計画」要領

指導教員は、下に記す学生の学修過程に従って適切な指導を行う。

(1) 修士課程（長期履修制度の適用を受けない場合）

- ・各年次において、適宜、適切な研究手法や研究倫理について指導を行う。
- ・1年次においては、修士論文における研究目標の設定と論文の全体的構想に関して学生の調査・研究を指導するとともに、その内容を「研究計画書」としてまとめさせ、確認のうえ3月末に提出させる。
- ・2年次においては、「研究計画書」にもとづき、修士論文の完成のために必要な調査・研究を指導するとともに、その執筆を監督し、適切な助言を与える。修士論文提出後は審査委員として審査にあたり、その過程を通じて論文の内容に関し質疑及び評価を行う（なお、論文審査の透明性・公平性を担保するため、主査は指導教員以外から選出することを原則とする）。
- ・年次を問わず、学生に対しては積極的に学会・研究会等における研究発表を勧め、必要な指導を適切に行う。

(2) 修士課程（長期履修制度の適用を受ける場合）

- ・各年次において、適宜、適切な研究手法や研究倫理について指導を行う。
- ・1年次においては、学生に履修計画等を記載した長期履修計画書を作成させ、確認のうえ4月中の所定の期間に提出させる。また、修士論文における研究目標の設定に関して学生の調査・研究を指導するとともに、その内容を「研究計画書」としてまとめさせ、確認のうえ3月末に提出させる。
- ・2年次の1年目においては、1年次の「研究計画書」を踏まえ、修士論文の全体的構成に関して学生の調査・研究を指導するとともに、その内容を「研究計画書」としてまとめさせ、確認のうえ3月末に提出させる。
- ・2年次の2年目においては、前年度までの「研究計画書」にもとづき、修士論文の完成のために必要な調査・研究を指導するとともに、その執筆を監督し、適切な助言を与える。修士論文提出後は審査委員として審査にあたり、その過程を通じて論文の内容に関し質疑及び評価を行う（なお、論文審査の透明性・公平性を担保するため、主査は指導教員以外から選出することを原則とする）。
- ・年次を問わず、学生に対しては積極的に学会・研究会等における研究発表を勧め、必要な指導を適切に行う。

(3) 博士後期課程

- ・各年次において、適宜、適切な研究手法や研究倫理について指導を行う。
- ・1年次においては、受験時に提出された「研究計画書」などにもとづき、博士論文の全体的な研究目標の設定に関して学生の調査・研究を指導したうえで、これらをまとめて今後の指針となる「研究計画書」を作成させ、確認のうえ4月末に提出させる。引き続き、博士論文の1章分ないし数章分に相当する内容の論考を執筆することを目標として、学生の調査・研究及び論文執筆を指導する。またその内容を「研究概要報告書」としてまとめさせ、確認のうえ2月末に提出させる。「研究計画書」「研究概要報告書」の提出に際しては、指導教員は指定様式により所見を作成し、これに添付する。
- ・2年次においては、1年次の「研究計画書」をふまえ、博士論文の全体的な構想に関して学生の調査・研究を指導し、その内容を「研究計画書」としてまとめさせ、確認のうえ4月末に提出させる。引き続き、博士論文の1章分ないし数章分に相当する内容の論考を執筆することを目標として、学生の調査・研究及び論文執筆を指導する。またその内容を「博士論文中間報告書」としてまとめさせ、確認のうえ1月末に提出させる。「研究計画書」「博士論文中間報告書」の提出に際しては、指導教員は指定様式により所見を作成し、これに添付する。
- ・3年次においては、1・2年次の「研究計画書」「研究概要報告書」「博士論文中間報告書」その他にもとづき、博士論文の完成のために必要な調査・研究を指導し、その内容を「学位予備論文」としてまとめさせ、確認のうえ規定の期日までに提出させる。さらに「学位予備論文」の審査結果を踏まえて、博士論文の完成のために必要な調査・研究を指導するとともに、その執筆を監督し、適切な助言を与える。博士論文提出後は審査委員として審査にあたり、その過程を通じて論文の内容に関し質疑及び評価を行う（なお、論文審査の透明性・公平性を担保するため、主査は指導教員以外から選出することを原則とする）。

- ・年次を問わず、学生に対しては積極的に学会・研究会等における研究発表を勧めるとともに、研究成果を論文としてまとめ学術雑誌に投稿・発表することを促し、いずれの場合にも必要な指導を適切に行う。

人間文化学研究科「研究指導」スケジュール

	(1) 修士課程	(2) 修士課程 (長期履修制度適用)	(3) 博士後期課程
入学時	指導教員の決定	指導教員の決定	指導教員の決定
1年次	4月中旬 履修科目の確定・登録、履修届の提出 3月末 1年次研究計画書の提出	4月中旬 履修科目の確定・登録、履修届の提出 長期履修計画書の提出 3月末 1年次研究計画書の提出	4月中旬 履修科目の確定・登録、履修届の提出 4月下旬 1年次研究計画書の提出(指導教員の所見を付す) 2月下旬 研究概要報告書の提出(指導教員の所見を付す)
2年次 (②にあつては2年次の1年目)	4月中旬 履修科目の確定・登録、履修届の提出 10月中旬 修士論文題目の届出 11月下旬 修士論文題目変更の届出(任意) 1月中旬 修士論文の提出 3月10日までの期間内 最終試験	4月中旬 履修科目の登録(長期履修計画書にもとづく)、履修届の提出 3月末 2年次研究計画書の提出	4月中旬 履修科目の確定・登録、履修届の提出 4月下旬 2年次研究計画書の提出(指導教員の所見を付す) 1月下旬 博士論文中間報告書の提出(指導教員の所見を付す)
3年次 (②にあつては2年次の2年目)		4月中旬 履修科目の登録(長期履修計画書にもとづく)、履修届の提出 10月中旬 修士論文題目の届出 11月下旬 修士論文題目変更の届出(任意) 1月中旬 修士論文の提出 3月10日までの期間内 最終試験	4月上旬 学位予備論文及び付属物の提出(※) 博士論文題目の届出 4月中旬 履修科目の確定・登録、履修届の提出 7月上旬 博士論文題目変更の届出(必要のない場合もある) 12月上旬 博士論文の提出 3月10日までの期間内 最終試験

[注] ここに掲載したのは一般的な研究指導スケジュールであり、神戸学院大学学位規則細則第2条第1項第1号に拠って学位論文を提出する場合、及び長期履修制度の適用を認められた学生が修業年限延長願を提出し許可された場合等には上記と異なった日程で指導を行うことがある。また、表中(※)に関して、博士後期課程3年次において4月に学位予備論文を提出しない場合には、3年次研究計画書の提出が必要である。